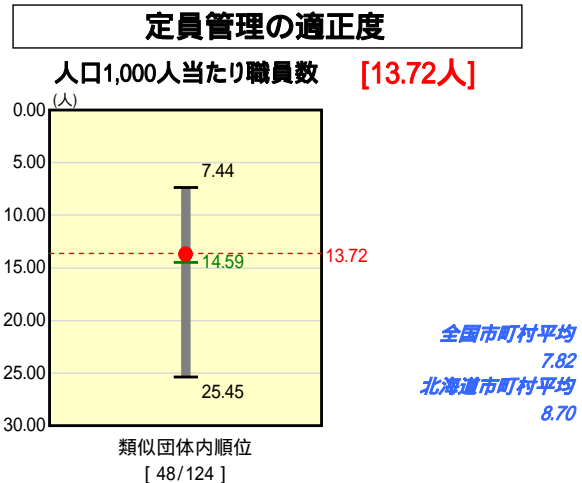
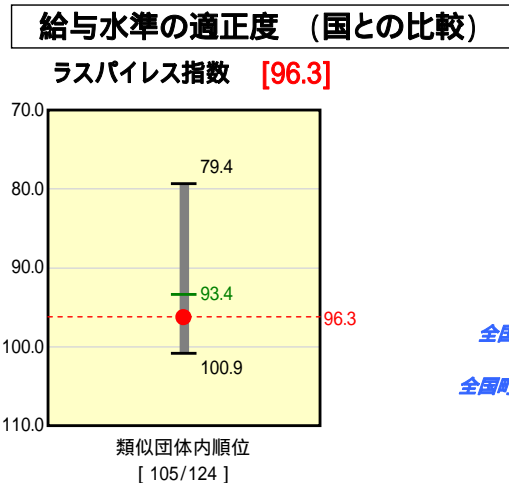
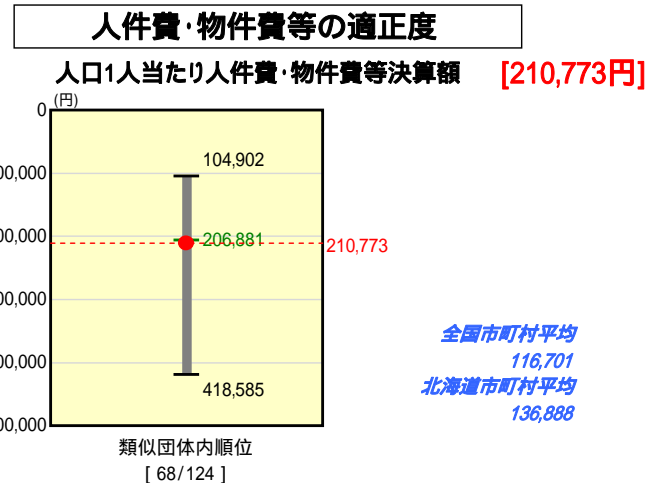
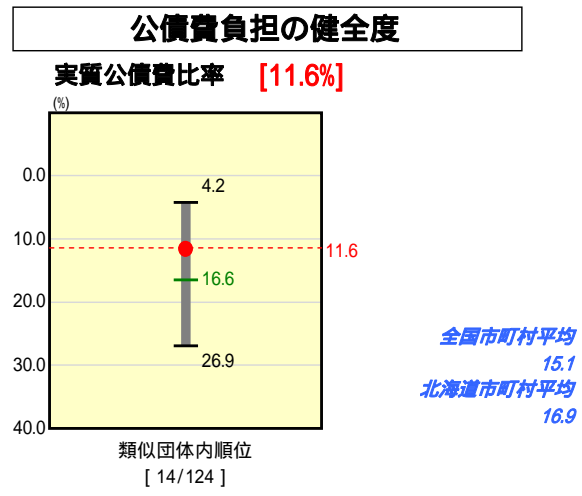
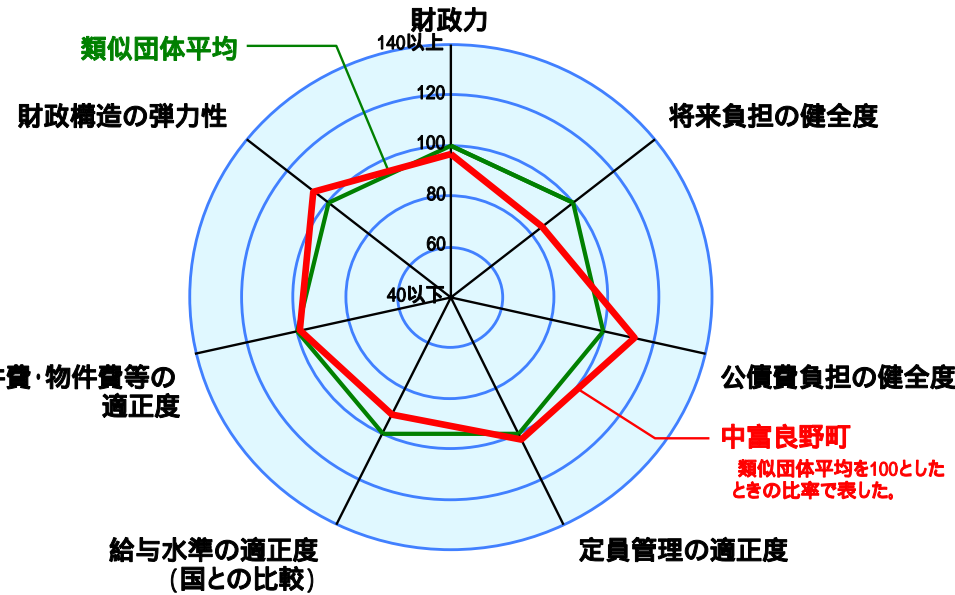
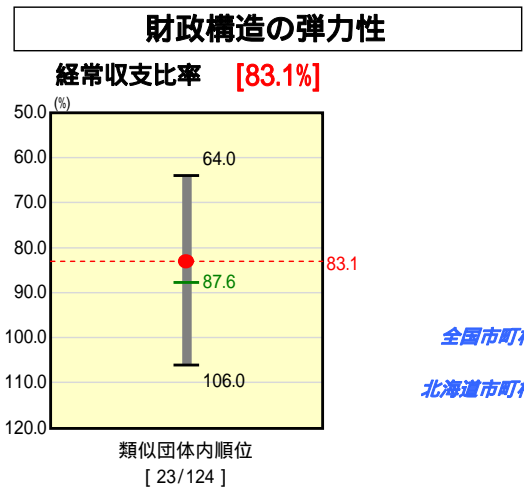
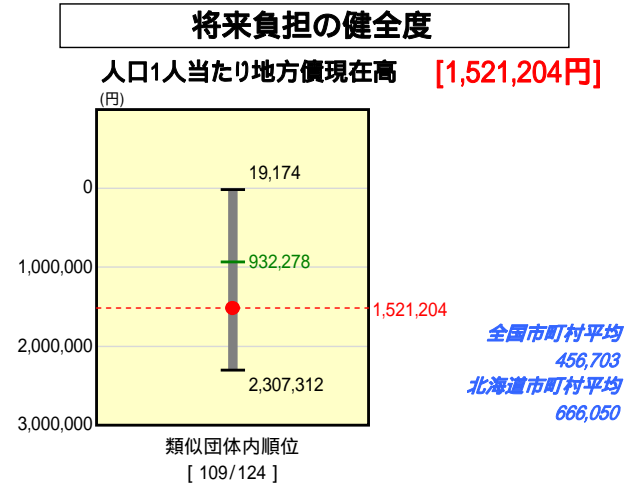
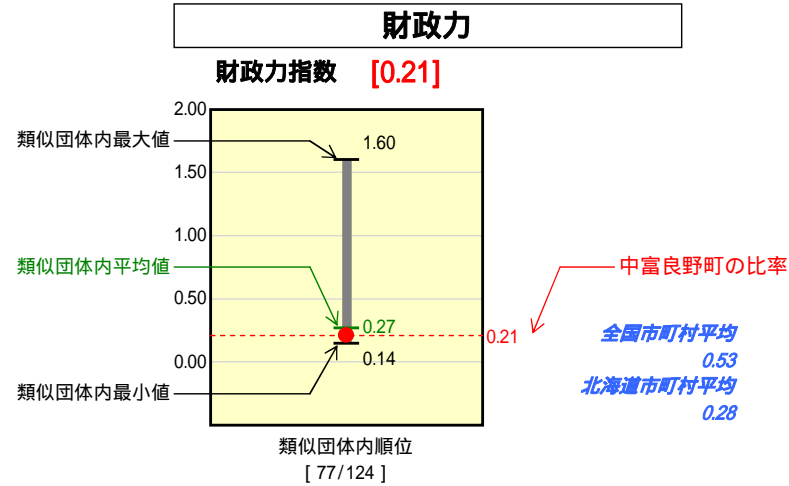


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 北海道 中富良野町

人口	5,756	人(H19.3.31現在)
面積	108.70	km <sup>2</sup>
歳入総額	4,569,707	千円
歳出総額	4,485,706	千円
実質収支	84,001	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数**  
人口の減少や高齢者の増加に加え、当町の主力産業である農業の不振等により、0.21と類似団体平均値を下回っている。今後も第4期まちづくり総合計画を基本に、事務事業の見直し・補助金等整理合理化・職員の定員管理等、限られた財源のなか、徹底した費用対効果の見直しと経費の節減に努め、財政の健全化を図る。

**経常収支比率**  
類似団体平均を下回っているが、公債費の増加等により比率は悪化傾向(対前年度比0.5ポイント上昇)である。人件費の抑制、義務的経費の削減に努め、現在の水準を維持する。

**ラスパイレス指数**  
以前より人事院勧告に基づき給与を削減してきたため、ラスパイレス指数は96.3(対前年度比1.3ポイント減)と国の給与水準に近い数値となっている。今後も人事院勧告に準じ給与の適正化に努めていく。各種手当では住宅手当を見直し、削減に努める。

**実質公債費比率**  
第4期まちづくり総合計画のもと、大型建設事業については取捨選択し、適切な事業実施等により11.6%(対前年度比1.4ポイント減)と類似団体平均を下回っている。一般廃棄物最終処分場、総合スポーツセンター等の起債償還が開

始されたため、元利償還金は平成19年度にピークを迎えるが、今後減少に転ずると見込まれる。

**人口1人当たり地方債現在高**  
類似団体平均と比較して町債残高が大幅に上回っているが、一般廃棄物最終処分場、総合スポーツセンター等の大型建設事業によるものが大きい。今後は大型建設事業の予定が無いため、国営事業負担金償還等の事業に絞りながら、新規の起債発行を抑制し財政の健全化に努める。

**人口1,000人当たり職員数**  
過去からの新規採用抑制策・機構改革の実施等により、類似団体平均を下回っている。今後も定員適正化計画に基づき定年退職者の不補充等により職員数を抑制し、より適切な定員管理に努める。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額**  
人口1人当たりの金額は類似団体平均を若干上回っている。今後民間で実施可能な部分については、指定管理者制度の導入などにより委託化を進め、コスト削減を図っていく方針である。